

令和8年度 佐賀市立巨勢小学校 教育課程

1 学校教育目標

【教育目標】「笑顔かがやく子供」の育成—「本気で」「元気に」「根気よく」取り組むよさに気づき、行動する子供の育成を目指す—

- ◇めざす学校像…①生き生きと学び合う学校 ②安心・安全で支持的風土に満ちた学校 ③信頼され、地域と共に歩む学校
 ◇めざす子供像…①ふるさを誇りに思い愛着を持つ子～巨勢、佐賀に誇りを持ち、これからの未来を考える子供～ ②深く考える子～自分で考え、判断し、実行する子供～ ③思いやりのある子～多様な他者の価値を認め、相手を思いやり共に生きようとする子供～ ④たくましい子～健康で、逞しい体力や気力を持ち、めあてに向かって粘り強くやり抜く子～
 ◇めざす教師像…①子供、保護者、地域の信頼に応える教師 ②教育愛と使命感を持ち、ともに伸びようとする教師 ③学校教育目標の達成、学校課題解決へ向けて努力し、キャリアデザインを持つ教師

2 本年度の重点目標

- ① **自分と他者を認め合い学びを深める児童の育成**
 ・個別最適な学びと協働的な学びの一体化をめざした授業づくりの推進 ・タブレットなどのICTやホワイトボードなどの積極的な活用
 ② **「あたり前のことをきちんと(凡事徹底)」指導と推進**(全教職員の共通理解と指導の徹底)
 ・挨拶や返事の推進、くつやスリッパ揃え、無言掃除の徹底 ・やさしい言葉をかけ合う子供の育成
 ③ **地域、幼保こ中連携など、「つながり」の中で子供を育てる教育活動の推進**
 ・「協力、思いやり、挑戦する気持ち」の育成、自己肯定感・有用感の醸成
 ・様々な立場の人と関わりの中から、自分や友達の良さや個性に気づき、生活を豊かにしていく場の設定

3 重点取組内容

(1)学習指導の充実

- ・教科等を横断的に年間指導計画を見直しを図り、単元づくりや授業づくりの工夫し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指した学習指導を目指す。
 ・自分の立場や考え方を明確に表し、学習用語や資料からの情報をもとに、論理的に言語化させ説明させる。
 ・自分の考えと他者と交流や話し合いを通して、考えを共有したり、内容をまとめたりする。自他の考えを比較したり、関連づけたりさせながら、共通点や相違点を見い出していく。
 ・学習を円滑に進めるための道具(手段)として、一人一台端末(タブレットPC)やホワイトボードなどを活用し、児童の思考を可視化し、互いの考えを伝えやすいようにする。
 ・情報モラルや情報リテラシーについての指導を系統的に行い、効果的にICTを活用できるようにしていく。

(2)生徒指導の充実

- ・「巨勢小の生活の決まり」、「毎月生活目標」をもとに、全教職員普段から共通した指導を行う。
 ・登下校のマナーやルールの指導を定期的に行う。学級通信やホームページを活用して保護者に周知する。
 ・月末に定期的に生徒指導協議会を開き、生活指導の評価と改善をするとともに、その時々で必要な生活指導について職員で共有する。また、配慮・支援を要する子供についての把握を行う。
 ・スマホ携帯の所持や使用についてのアンケートを取るなどして状況を把握し、SNS、情報モラル、依存などの課題に関する指導を系統的に行い、それらを積極的に保護者へ啓発していき、学校と家庭とが協力していく。

(3)特別支援教育の充実

- ・特別支援学級在籍児童の数の増加を受け、情報交換やケース会議を通して、一人一人をきめ細やかに支援する体制づくり、学級づくり、環境づくりを進める。
 ・すべての児童が、互いに安心して生活できるように、道徳、学級活動、自立活動、異学年交流などを通して、適切な行動、ソーシャルスキル、コミュニケーションスキルの育成を図る。
 ・通常級の中に配慮や支援を要する子供が増加しているため、特別支援学級担任やコーディネーターを中心に、必要な手立てや場づくり、指導法などインクルーシブ教育の視点で安心安全に生活できる環境づくりを行う。
 ・担任は、保護者や児童の願いをもとに、一人ひとりに応じた「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成する。SCやSSWや各専門機関と連携するなどして、子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行う。

(4)人権・同和教育の充実

- ・全ての教育活動の中で、自他を尊重し認め合う気持ちをもつ子供の育成を目指す。
 ・支援教員を中心に各学年で人権学習を計画的に行う。児童から募集した「人権リーダー」を中心に年数回の人権教室、人権集会を行い、児童の人権意識の向上を図る。
 ・全2回のWEBQUIによる学級集団の分析を行い、安心安全な学級づくりを行う。また、構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニング、グループワークトレーニング等を通して差別のない仲間づくりを進める。
 ・友達の良いところを書いて掲示する「ぼかぼかの木」の活動を通して、互いの良さを認め合う場を数多く設定する。
 ・全教職員を対象に研修会を実施し、職員の人権意識の向上を図る。
 ・「いまのきもちカード」や「あのねタイム」等を通して、特別支援教育や教育相談と連携した子供の支援体制づくりを進める。